

# 斎藤病院看護部の教育体制

## 1. 斎藤病院理念

「患者と共に暮らし、患者を愛し、患者を温かく見守っていく」という創設者の信条に基づき、心身に障害を持つ人に対して、専門的な立場から科学的かつ適切な関わりによって、自らの力で健康を回復し、社会経済活動に参加できるように援助する。併せて、地域精神保健福祉の向上に寄与する。

## 2. 看護部理念

心身に障害を持つ人に対して、個別的なニーズに応じて専門的立場から、よりよい看護を提供することによって、健康状態を自ら回復し、社会に適應できるように援助する。併せて、地域における精神保健福祉の向上に寄与する。さらに看護師として、豊かな人間性の涵養と自己啓発に努める。

## 3. 教育目的

- ① 患者中心の精神科医療・看護に必要な専門的知識・技術の習得を図る
- ② 人間の尊厳及び権利を尊重した看護が実践できるよう人間性豊かな感性を育む
- ③ 自己の責任として継続学習し、自己成長できる職員を育成する

## 4. 教育体制の基本的な考え方

### 1) クリニカルラダー

- ① 各段階の到達目標が示されているので、自分の看護実践の現状と課題が明確になり、次に向けてのステップに向けて方向性が明確になります
- ② 5つの到達レベルと3つの能力（看護実践能力、自己教育・研究能力、組織的役割遂行能力）で目標（期待）が示されているので、多様な背景を持つ看護職に対応できます

						レベルⅤ	ベテラン マネジャー
						レベルⅣ	中堅～ベテラン 病棟リーダー
					レベルⅢ	中堅 チームリーダー	
		レベルⅡ	一人前				
レベルⅠ	新人・精神科未経験者						

## 2) OJT による看護実践能力の習得

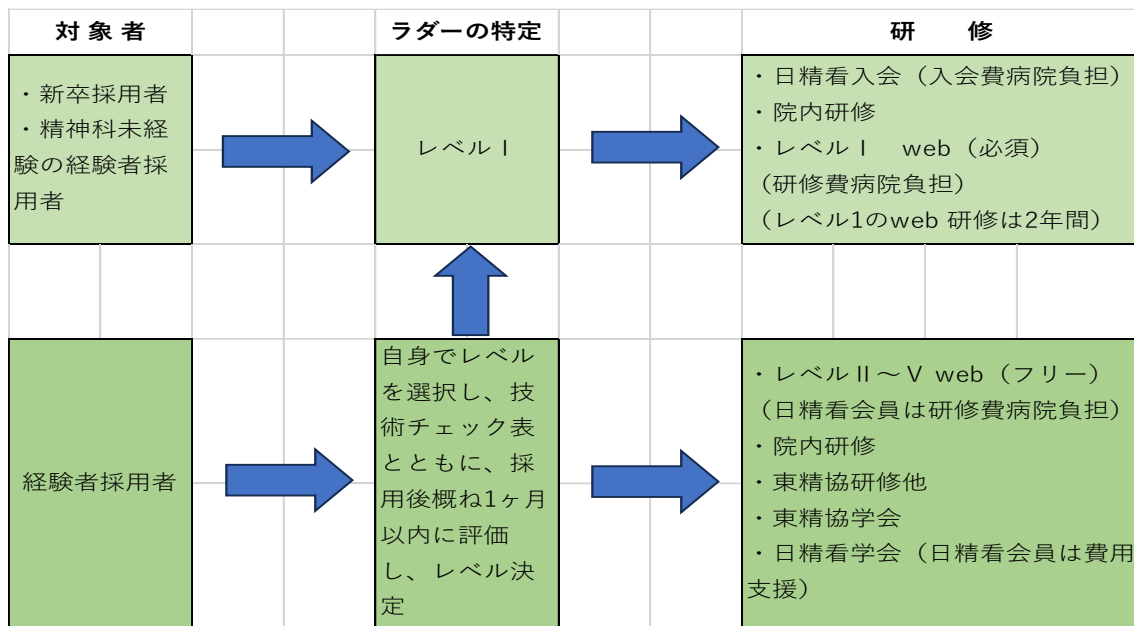
- ① 精神科看護職として臨床で必要な知識や技術、考え方や姿勢は看護実践を通して身につけます
- ② ラダーの到達目標を踏まえ、目的をもって看護実践を積み重ねることで経験値を高め、確実にスキルを習得します

## 3) 委員会等の活動

委員会活動は組織横断的な活動で、他部署との交流があり、病院全体の活動であることから、コミュニケーション能力、交渉能力、視野拡大、組織支援につなげることができます

## 5. 研修体系概要

研修は、看護専門職としての成長への支援であり、到達目標を達成するための切れ目のない学習機会の提供と考えています



## 6. 指導体制

- ① 新卒採用者、経験者採用者ともに指導者をつけ、業務の習得、職場への適応が円滑に行われるようサポートします
- ② OJT は、職員全員で指導に当たります
- ③ 特に新卒者の技術習得に対しては、指導者の手技等の見学、助言・見守り下の実施、一人で実施、という手順を踏むようにします
- ④ 指導を受ける側（特にレベル I）は、一人で判断せずに指導者への報告・連絡・相談を忘れないようにしましょう